

# 鹿島市教育委員会会議録（2月定例会）

## 1 開会、閉会、休憩の年月日時刻

- (1) 開会 平成31年2月1日（金）9時30分  
(2) 閉会 平成31年2月1日（金）10時21分  
(3) 休憩 平成 年 月 日 時 分～ 時 分

## 2 出席及び欠席委員の氏名

- (1) 出席 中村和彦教育長  
池田正明委員 岡田和人委員  
田代道子委員

- (2) 欠席 木原八重子委員

## 3 委員及び傍聴人を除き、議場に出席した者の氏名

- ・寺山教育次長
- ・針長教育総務課参事
- ・岡指導主事
- ・一ノ瀬給食センター所長
- ・高本教育総務課課長補佐
- ・山崎生涯学習課長
- ・江口人権・同和対策課長
- ・澤野指導主事
- ・橋村生涯学習課課長補佐

## 4 会議に附議した事件の題目及びその内容〔担当課長等説明〕

- ・議案第2号 鹿島市地域学校協働活動推進員設置要綱の制定について

(内容)

鹿島市地域学校協働活動推進員設置要綱を別紙のとおり制定したいので、委員会の議決を求める。

(説明)

社会教育法の改正により、地域学校協働活動推進員に関する規定が整備されたため、この案を提出する。

(質問事項等)

岡田委員：「地域学校協働活動推進員の役割について、イメージとしては、子どもたちに直接というわけではなく、コーディネーター的なものと考えてよいか。」

事務局：「地域、学校と相互に連携していくためのつなぎ役を強化していくものになる。」

池田委員：「部活動指導とかには直接かかわらない、子どもたちに直接というわけではないですね。」

事務局：「コミュニティースクールの委員を地域学校協働活動推進員にすることも含めて考えている。」

池田委員：「登下校見守り支援とか、学校行事との調整を行ったりする

ものか。」

事務局 :「補助事業への対応として、地域のまとめ役として、現在は、市職員を配置しているが、将来的には、地区の方から推薦をいただき、地域の人を委嘱していきたい。」

岡田委員 :「推進員の名称が親しみにくい呼称である。」

教育長 :「コーディネーター事業は、10年ほど前からあったが、鹿島市ではコーディネーターがいなかった。今回、設置要綱を策定し、今後、推進員について検討していくことになる。」

※提案どおり承認。[全員承認]

### ・議案第3号 鹿島市社会同和教育地域推進員の委嘱について

(内容)

鹿島市社会同和教育地域推進員設置要綱により、鹿島市社会同和教育地域推進員を委嘱したいので、委員会の議決を求める。

(説明)

鹿島市社会同和教育地域推進員の退任に伴い、委員を補充したいので、この案を提出する。

※提案どおり承認。[全員承認]

## 5 承認事項

【鹿島市教育委員会1月定例会議事録の承認について】

※※提案どおり承認。[全員承認]

## 6 協議事項

なし

## 7 報告事項

## 8 その他委員会において必要と認めた事項

・2月の学校行事等について

・その他

(質問事項等)

教育長 :「スポーツ合宿でのスポーツ交流は、保育園児とのふれあいが多いうだが、小学生との交流も計画して欲しい。1月に開催されたクロスカントリー大会への市内中学生の参加者が少

なかった。陸上に親しむ機会を作って欲しい。鹿島市には、立派な陸上競技場があるからそれを、活かして欲しい。」

事務局 : 「小学生との交流については、大東文化大学が合宿期間中の3月12日に実施する予定がある。」

岡田委員 : 「千葉県野田市の虐待事件について、鹿島市での虐待への対応はどのようになっているのか。児童相談所や警察、市役所、病院などの関係機関の連携が大事であることを感じた。」

事務局 : 「事案が発生したら学校から直接児童相談所に通報することになる。通報後は学校から市教育委員会に通報したとの報告はある。市福祉課が主管課となるが関係機関との連携は取れている。」

岡田委員 : 「先日、教育委員会の研修会に参加させていただいたが、文部科学省の担当者から佐賀県は千人あたりのいじめの覚知件数の報告値が（他県と比べて）少ないと言われた。」

事務局 : 「いじめの報告は3年くらい前から程度にかかわらず、報告している。」

※ 「いじめの件数の報告」と「学習状況調査の結果報告」「不登校の状況」について指導主事から報告した。